

# 高めよう防災意識！そなえよう火事地震！

## 団地防災訓練に750名が参加

### はしご車も出動 団地7階からの救出訓練



もし東京多摩地区に直下型地震が起きたとしたら昭島市の被害はどの程度になるのでしょうか。東京消防庁のシミュレーションでは、マグニチュード7.2、震度6の場合には、火災の発生五千件、死傷者19人、負傷者約四千名と予測されています。私達が暮らす高層集合住宅の場合にはさらに多くのリスクが伴っており、被害を軽微なものにするためには訓練はもとより、家具の転落防止金具等の設置、非常時に住民相互が助け合う協力体制など、日頃からの備えと共に私達の防災に対する意識の向上が極めて重要です。

昭島市内では、幸いにして死傷者こそ出ていませんが今年になって既に50件の火災が発生しており、これから冬に入り空気が乾いてくるとさらに増加してくると思われます。被害を拡大させないためにも注意が必要です。

東京消防庁の調べでは、出火原因の第1位は「放火」で、以下「たばこ」、「ガステーブル等」、「火遊び」、「電気ストーブ」の順になっているそうです。建物火災の最近の傾向としては、共同住宅・集合住宅の火災が増加しつつあるともいわれています。「放火」の被害を防止するために、団地内で不審な行動をしている者を見つけたら、ひるまずに警察・消防に通報をお願いします。

こうした中、16日の日曜日、つつじが丘北小学校の校庭で750名の住民が参加して団地の防災訓練が行われました。1年に1回の大規模訓練ですが、年ごとに素早く整然と行動できるようになったのも訓練の成果でしょう。



## アゼリア自治会に東京消防庁より感謝状授与 防災技術発表会では 優勝と第3位受賞

防火・防災活動に功勞のあった団体への表彰式が12日、フォレストイン昭和館に於いて行われ、東京消防庁より当自治会に対して感謝状が授与されました。また、防災技術発表会では当団地から2チームが参加し、優勝と3位を受賞しました。

# 昭島市 つつじが丘北小地区を生涯学習 校区協議会のモデル地区に選定

昭島市は生涯学習推進計画により、「市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習」を実現するために、「小学校区」を中心とした生涯学習プランを推進しています。昭島市教育委員会は、このモデル地区となる「小学校区」を住民の主体的活動が活発に行われている「つつじが丘北小学校地区」に選定し、モデル事業を推進することになりました。校区協議会はあくまでも地元の住民が主体的にこの事業を推進し、行政がその支援を行うことで成り立つものであり、昭島市はこのモデル事業の期間を約3年間として、人的支援 施設支援 財政的支援を行うことにしています。先日、昭島市の説明会が児童センター集会室で行われ、当自治会他、サークル等の諸団体の代表が出席し説明を受けました。同時にこの会合に於いて代表世話人6名が選出され、今後に向けた話し合いをしてもらうことになりました。

## 校区協議会の具体的な事業内容

- (1) 既にこの地区で活動している文化・スポーツ・レクリエーション活動等のグループ・団体活動への支援。
- (2) 住民の意見を取り入れた文化・スポーツ・レクリエーション活動事業の推進。
- (3) さまざまな年齢層の地域住民の相互交流を目的にしたイベントの実施。
- (4) 校区協議会本部の運営（定例会議・研修会の実施）など。

## 校区協議会の構成員

- (1) 地域団体の推薦による住民
- (2) 公募による市民

- (3) 校区協議会が必要と認めた方
- (4) 昭島市行政職員

## 行政としての支援内容

- (1) 人的支援
- (2) 活動拠点となる施設への支援
- (3) 財政的支援



## 当自治会、アゼリア子供会に昭島市長より感謝状

11月8日に開催された「産業祭り」に於いて、ごみの減量と資源の有効利用に多大の貢献があったことにより、当自治会及びアゼリア子供会に対して昭島市長より表彰があり、自治会からは代表して有松会長が授賞式に臨み、感謝状の授与を受けました。これは当団地の住民が毎月行っている資源回収に対する昭島市の評価であり、仕訳作業にボランティアで協力して頂いている号棟委員の皆様、シニアクラブ、オーナーズの皆様に改めて感謝申し上げます。

## 赤い羽根共同募金



今年も10月末までの1ヶ月間、「赤い羽根共同募金」を実施しました。アゼリア自治会では団地内の戸別集金は行いませんでしたが、募金箱を常時16号棟管理事務所内、運動会の会場にも設置するなどして皆様に協力をお願いし、総額76,347円の募金を集めることができました。集められた募金は共同募金昭島地区協会に11月4日にお届けしました。ご協力ありがとうございました。